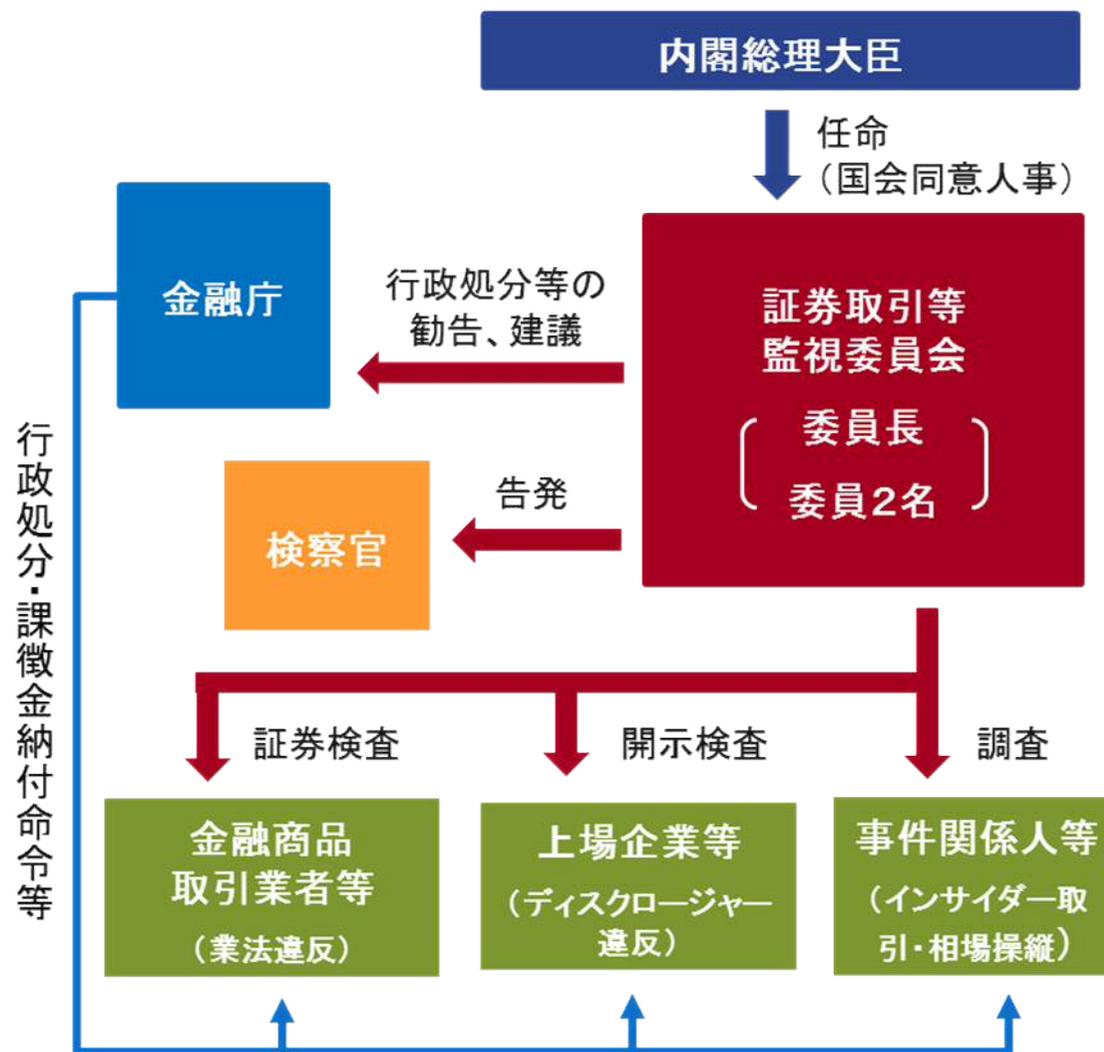

行政事業レビュー 概要説明資料
(市場の公正確保のための経費)

平成29年6月
証券取引等監視委員会

1. 事業の概要①（証券監視委の組織・目的）

- ◆ 証券監視委は、委員長及び委員2名で構成される合議制の機関として金融庁に設置（平成4年発足）。
- ◆ 委員長及び委員は、内閣総理大臣により任命され、独立してその職権を行使（任期3年）。
- ◆ 市場の公正性・透明性確保、投資者保護等を目的に活動。
 - インサイダー取引・相場操縦等の不公正取引に対する調査
 - 上場会社のディスクロージャー違反に対する開示検査
 - 金融商品取引業者の不正行為に対する証券検査
 - 上記の調査・検査結果を踏まえた課徴金納付命令・行政処分等の勧告や刑事告発を実施 等



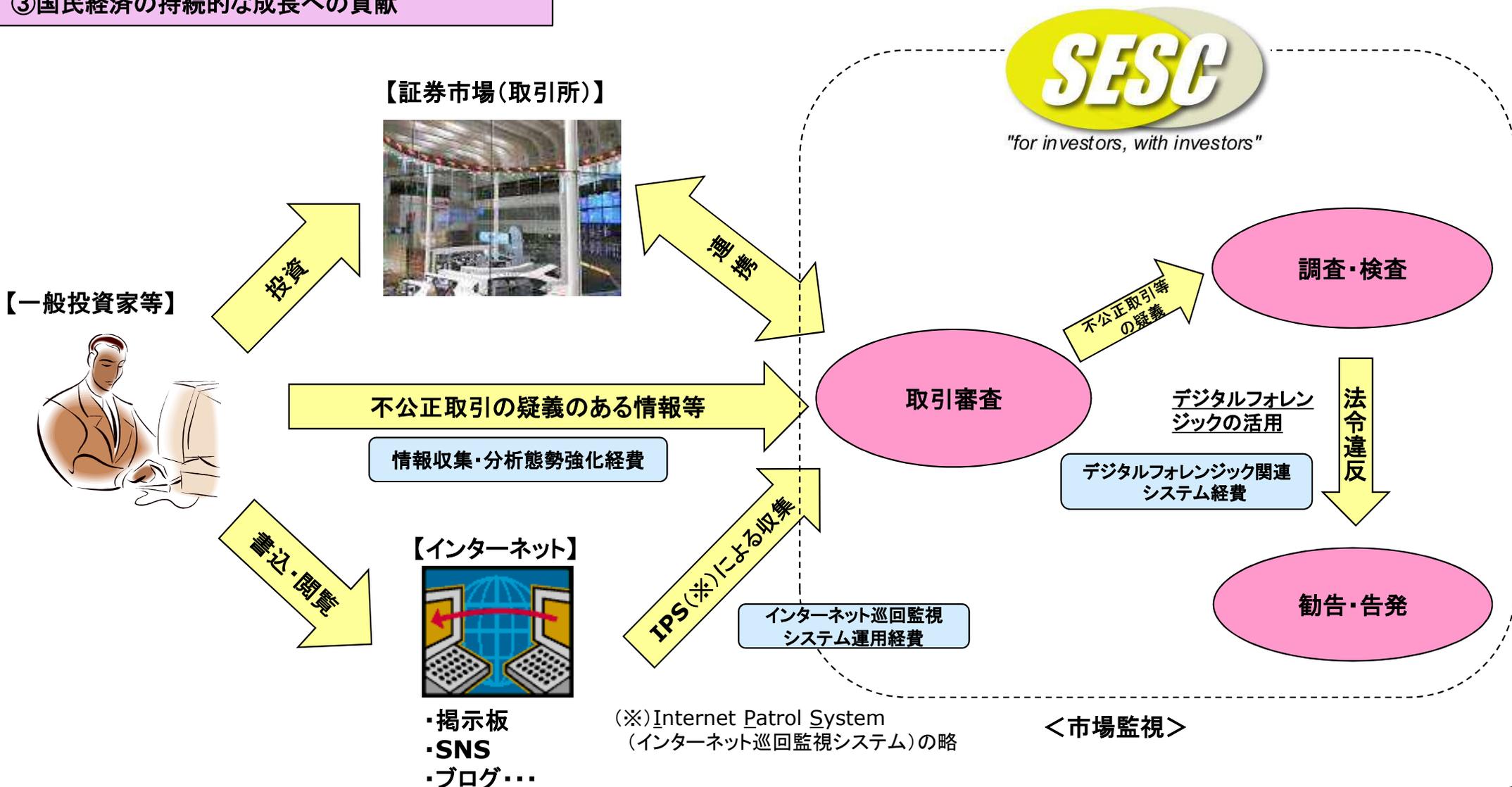
1. 事業の概要② (全体像)

【証券監視委の使命】

- ①市場の公正性・透明性の確保及び投資者保護
- ②資本市場の健全な発展への貢献
- ③国民経済の持続的な成長への貢献

【監視委が目指す公正・透明な市場の姿】

全ての市場利用者がルールを守り、誰からも信頼される市場



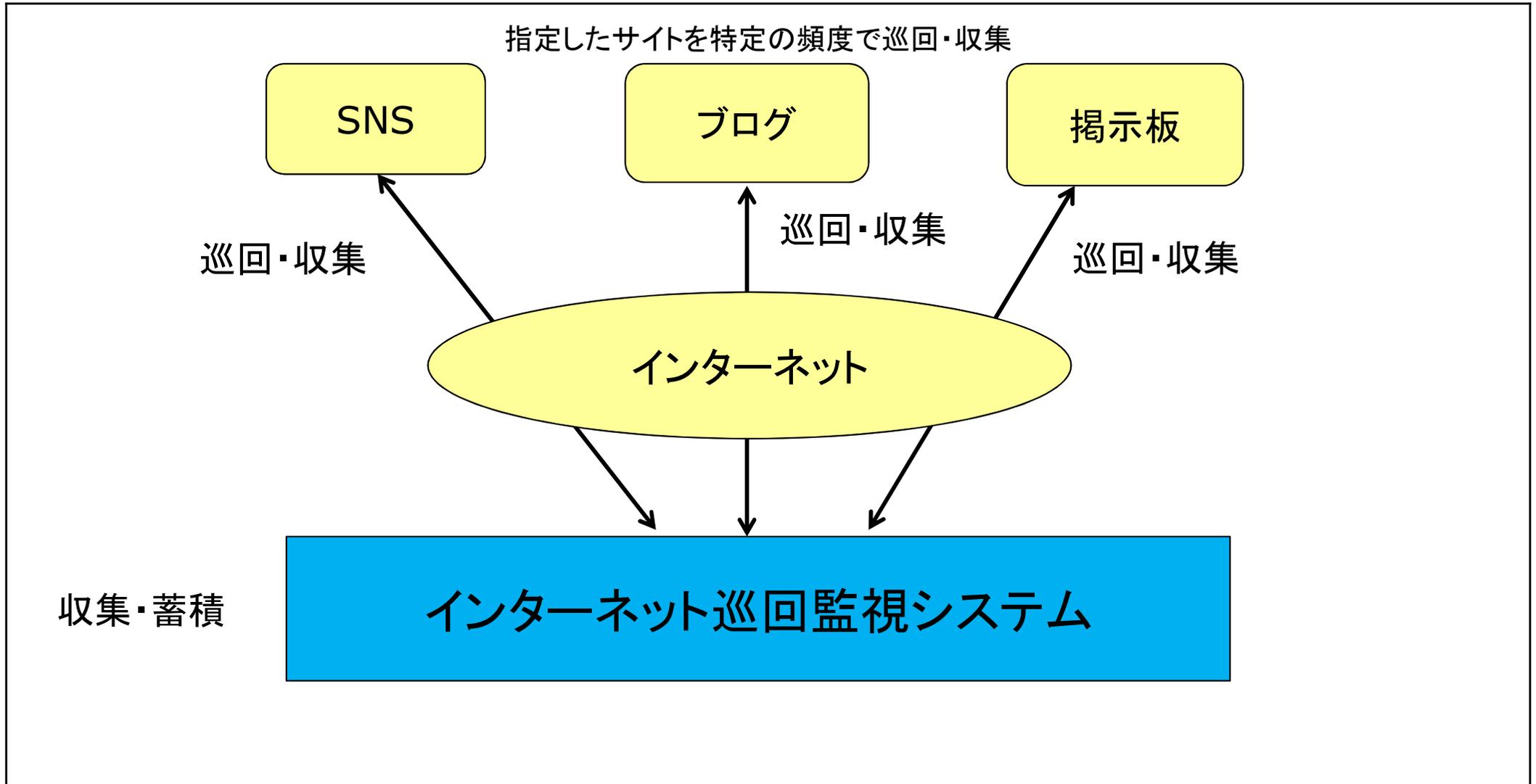
2. デジタルフォレンジック関連システム経費【H28年度予算額：45.2百万円】

【経費の概要】 IT技術の高度化や不公正取引の複雑化等に対応するため、電磁的記録の保全・復元・解析等（デジタルフォレンジック）といった検査・調査支援のための環境整備に係る経費

市場監視を取り巻く内外の環境変化	対応方針
<ul style="list-style-type: none">○ 調査対象となる電子機器（スマートフォン・タブレット等）の多様化・高度化○ 記憶媒体の大容量化、データのクラウド化○ 新たなITサービス（SNSやファイル共有サービス等）の普及に伴うデータ取得対象の多様化○ 調査対象の電子機器等における暗号化技術の高度化	<ul style="list-style-type: none">○ 多様な電子機器に係るデータを保全・復元・解析するためのデジタルフォレンジック機器・システムの整備○ 大量のデータを処理するためのデジタルフォレンジック機器・システムの性能の向上○ 様々なITサービス等に係るデータを保全・復元・解析するための技術の向上○ 暗号化された電子機器等のデータを保全・復元・解析するための技術の向上

3. インターネット巡回監視システム運用経費【H28年度予算額：13百万円】

【経費の概要】 株価に影響を与えるような不適切な書込みなどを確認することを目的として、インターネット上のサイトを巡回してデータを収集・蓄積し、その検索を可能とすることで、効率的な市場監視のための支援となるインターネット巡回監視システムに係る経費



4. 情報収集・分析態勢強化経費【H28年度予算額：13.8百万円】

【経費の概要】機動的な市場監視を実施するため、一般投資家等から有用な情報を収集するための情報提供受付窓口の整備に係る経費
(情報提供窓口業務の補助等を行う非常勤職員手当、ナビダイヤルなど)

不公正取引？
(不公正取引を察知)

投資



【証券市場】

非常勤職員
にて電話受付



【一般投資家等】



情報提供



【情報提供窓口】

分析・確認

非常勤職員
にて相場情報等を確認

市場監視に活用

- ☆ポスター・リーフレット配付
- ☆駅などへのポスターの掲示
- ☆金融機関等ウェブサイト、監視委の情報提供窓口サイトへのリンクを設置
- ...